

# 宇治田原町教育委員会定例会議事概要

## 令和5年第2回

日 時 令和5年2月24日(火) 14時開会

場 所 宇治田原町役場 2階 会議室202

出席者

(教育長) 奥村 博巳

(教育委員)

教育長職務代理者 大嶋 良孝

委員 杉野 三千代

委員 川崎 文男

委員 播磨 幸博

(出席職員職氏名)

教育次長兼学校教育課長 黒川 剛

社会教育課長事務代理 岡崎 貴子

学校教育課課長補佐 杉浦 恒

(書記職員職氏名)

学校教育課教育総務係長 星野 聖美

(傍聴者)

なし

- 1 開会 教育長が第2回宇治田原町教育委員会定例会の開会を宣言する。
- 2 教育長あいさつ
- 3 議事録承認

令和5年第1回宇治田原町教育委員会定例会議事録の承認

#### 4 議事

##### (1) 付議案件

日程第1 令和5年度宇治田原町立小学校及び中学校の管理職の異動について

日程第2 宇治田原町教育委員会表彰について

(以上2件非公開。いずれも全員賛成により承認)

日程第3 宇治田原町立学校給食調共同理場給食費に関する規則の一部を改正する規則を制定するについて

(説明) 令和5年4月1日から、小中学校それぞれ20円の給食費の負担増をお願いするもの。学校給食共同調理場運営委員会を開催し、承認を受けた。

(質疑)

<委員> 毎月のようにいろんな食材の価格が上がっており、もう値下がりすることはないだろうと思うので、20円では厳しいのではないかとおもうが、いかがか。

<事務局> 今のところは20円の値上げで通常の給食が提供できる見込みであり、それ以上の値上げをしても余った分を貯金するわけにはいかないため、必要なだけの引き上げを行う予定である。

(承認) 全員賛成により承認。

日程第4 宇治田原町私立幼稚園給食費補助金交付規則の一部を改正する規則を制定するについて

(説明) 町内に設置された私立幼稚園に対して給食費を町が補助しているが、小中学校と同様20円の給食費引き上げを行うもの。様式中の押印廃止も併せて行う。

(承認) 全員賛成により承認。

(2) 報告事項

ア 学校教育課所管事項について

- ・うじたわら学び塾（冬季）について

(説明)

○児童生徒参加者

教室名	申込人数	参加実人数	参加延べ人数
英語検定を目指して	68	59	59
わくわく英語	29	22	22
漢字検定に挑戦	29	27	40
漢字検定	50	48	48
ハンドベル教室	9	5	5
勉強何でも相談室	10	9	9
新体力テストに挑戦	7	7	7
合計	202	177	190

○運営スタッフ参加者

区分	参加実人数	参加延べ人数
一般大人	16	16
補助教員等	15	41
大学生	0	0
高校生	1	1
合計	32	58

(意見)

<委員> たくさんの大人の方に協力していただき、本当にありがたい。今回参加した子どもたちが、高校生・大学生になったときに、次はスタッフとして参加してくれるとありがたいなと思う。

- ・令和4年度教育委員会主要事業総括について

(説明) 令和4年度の教育の重点に基づき、「令和4年度宇治田原町教育委員会の取組」を取りまとめた。これを基に3月の総合教育会議において、取組の説明を行いたい。

(意見)

<委員> こういう形で取組が整理されて、1年間何をしてきたかということまとめられるのは大きな一歩ではないかと思う。もう一歩進めて、成果と次の課題を入れることで、具体的に次年度の教育の重点に生かすことが出来る。

<委員> 教育の重点が8まであるが、最終的にもっと絞れないものかと思う。どれも必要なことではあるけれど、町としてここを頑張ってやっていくという部分に焦点を合わせるほうが教職員も判りやすい。そのうえで、成果と課題というのが入ってくると、予算協

議の中でもアピールしやすいのではないか。

・令和5年度教育委員会関係予算について

(説明) 3月3日に開会される町議会において、新年度予算案を上程する。町の予算総額で51億7,700万円のうち、教育委員会事務局費、小学校、中学校、社会教育費、給食調理場運営事業費を合わせて合計5,680万3,000円、全体の割合では約10.7%を教育費が占める

(質疑)

<委員> 新規の事業というのは、地域部活動推進事業費だけか。全予算の中で教育予算が10%を超えているということで、頑張って予算をつけていただいていると思う。割合的には前年度と同じくらいか。

<事務局> 新規の事業は地域部活動推進事業費だけである。今年度はトイレの洋式化工事があったため、予算額としては下がっているが、割合としては同じくらいだと思う。

<委員> 学校施設について、部分改修は少しずつしていると思うが、大規模改修は行わずに壊れた箇所の修繕だけでいくつもりか。また部活動地域移行の予算の内容は。

<事務局> 学校の改修については、昨年度までは施設一体型で進めるということであったので、大規模改修はしない方向であった。しかし、令和4年度にトイレの洋式化も行い、雨漏りや天井が抜けているなど修繕箇所が増えていることもあり、単年度で改修事業を行うと効率も悪く補助金も利用することができないため、今回の予算協議の中でも、各学校の施設修繕計画を作成して、計画的に改修していくべきだという意見があった。しかし、町として施設一体型を目指しているのに大規模改修を行うのは方向性が違うのではないかという思いもあり、教育委員会や町と協議していく必要があると感じている。部活動地域移行については、中学校のニーズと指導員をコーディネートするコーディネーターを設置する費用、国の基準に準じた指導員の報酬(1回3時間程度×50回)を計上している。

<委員> 地域移行に関しては先進的にやっている例もいくつかあるが、小さい市町などではできないという声が大きくなり、文科省の方もトーンダウンしている状態。男女共同参画や、高齢者の働き方などで、部活動に協力してもらえる人が少なくなっている中、人材不足は大きい。例えば、小中一貫を考えるなら、幅を広げて小学校高学年から中学生など幅を広げた形で部活動を行うなどしていけば、競技人口も増えるので、部活動というより、地域スポーツのような形に移行する覚悟が必要ではないかと思う。

<事務局> そういったことも含めて、この中で協議してもらったらいいと思う。

## 5 その他

・なし

## 6 閉会 教育長が第2回教育委員会定例会の閉会を宣言する。